

令和 2 年 9 月 1 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：集中治療室再入室患者の因子と予後に関する検討：単施設後方視研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2016 年 1 月～2019 年 12 月に当院 A 棟 3 階集中治療室で治療を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

集中治療室への再入室は、死亡、集中治療室在室や病院在院日数の延長、コストの増加などに関連することが報告されています。再入室となる原因を検討する研究もいくつか行われていますが、これらの研究はすべて海外で行われたものであり、本邦とは医療システムや人種などが異なります。従って、本邦における集中治療室入室患者さんの再入室に影響を与える因子を明らかにすることが重要です。

そのために、本研究は本院の患者さんで再入室に影響を与える因子を明らかにすることを 1 つの目的とします。また、再入室の多くは新たに発生した病態などに起因するものであり、防ぐことは困難とする研究もあります。防ぐことが困難であれば、再入室患者さんの予後を悪くする因子について明らかにすることも再入室患者の予後を改善するために必要と考え、本研究のもう 1 つの目的とします。本研究は倫理審査委員会の承認後、2022 年 3 月 31 日まで実施する予定です。

本研究は該当する患者さんの次項に挙げる項目を電子カルテより参照させていただくことにより実施いたします。従って、新たに検査や治療、問診などを患者さんに行うことはありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより以下の情報を参照させていただきます。

- ・年齢、性別、身長、体重、集中治療室入室日、入室理由、退室日、再入室時の集中治療室退室転帰（生存、死亡）、病院退院日、病院転帰（生存、死亡）、退院経路（自宅、転院）、併存疾患、集中治療室での重症度スコア、集中治療室での人工呼吸、腎代替療法、補助循環、気管切開、昇圧薬の使用の有無、リハビリ開始日、経口摂取・経腸栄養開始時期 など

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 麻酔・侵襲制御医学講座 教授 西田修

6. 除外の申出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方に
ご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先まで
お申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益
が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範
囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 麻酔・侵襲制御医学講座

担当者：矢田部智昭

愛知県豊明市杣掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9008